



---

## 小児科からのメッセージ

We are family of department of Pediatrics

小児科医は、“子どもの総合医”としての素養が求められており、正常小児の成長・発達に関する知識に加えて新生児期から思春期までにわたる疾患に関する幅広い知識が必要です。また、小児科医として必須の疾患をまれなく経験するのみならず、小児医療のコーディネーターとしてチーム医療に関する能力・問題対応能力・安全管理能力を有し、家族への説明と同意を得る技能を身につける必要があります。

本プログラムは、日本小児科学会の掲げる「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた社会のニーズを満たし社会に貢献する小児科専門医となることを目指していきます。そして、最終目標は患者さんに寄り添う慈愛の心を有する“Patient-Oriented”な、かつ常に患者さんの問題点を考えつつそれを解決しようとする“Science-Oriented”な小児科医の育成です。

是非、一緒に私たちと小児科学を学びましょう。

小児科 診療部長 井田 博幸

---